



遠くに大和三山などを望む



【アクセス】JR万葉まほろば線柳本駅が最寄りの駅
 【問い合わせ先】天理市トレイルセンター
 ☎0743-67-3810

道のりは、のどかな田舎道である。景行天皇陵から**松原神社**までは、農家が点在したり、野菜畑の間をぬけたりするが、基本的に平坦な道なのである。鳥居の原型である「三ツ鳥居」が立つ松原神社は大神神社の摂社で元伊勢と称されている。ここから西方向を眺めると、柿畑が緩やかなスロープの丘陵地帯に広がっていて、遙か遠くには二上山を望むことができ



のどかな田園風景を歩く

里地

日本最古の道

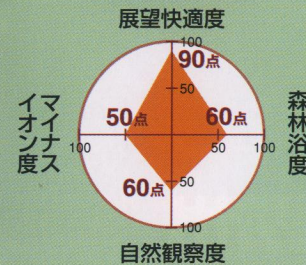
56

やま
山の辺の道
 みち
 奈良県
 天理市～桜井市
 万葉集などに登場する地名や旧跡を訪ねながら歩く

オススメ度 ★★★★★

魅力満喫度

400点満点 **260点**



その他の魅力

神話や古代ロマンが溢れている道である。田舎のあぜ道風の場所や雑木林の中を歩いたりするが、それがまた気分を和やかにしてくれるのである。

コースデータ

- 徒歩総時間………3時間
- 楽しめる期間………通年
- オススメの季節……秋気配の11月、冬枯れの12～2月

最寄りの施設

天理市トレイルセンター 今回紹介するコースの出発点となる。山の辺の道の情報を提供。無料休憩所、トイレ、駐車場もある。今回のコースの地図も入手可能である。☎0743-67-3810

▲コースの特徴

今回紹介するのは、山の辺の道の一部、**崇神天皇陵**から**大神神社**までである。時間に余裕のある人は、すべての行程を歩くのもいいだろう。山の辺の道は、遙か彼方の大陸との間を人や物が行き来した痕跡の残る道である。大陸から海を渡ってきた船は、瀬戸内海を経て、現在の堺や大阪湾近くの港に到着する。その後、水運を利用して大和川を遡ってきた。現在の桜井市の郊外を流れる大和川の河川敷には、水運による物流の最終到着地を示す標識がある。そこで船から荷揚げをし、人馬による陸運によって大和朝廷のある奈良盆地へと運ばれた。それが日本最古の道・山の辺の道なのである。よって、この道は奈良盆地の東側にある山裾を通過している。崇神天皇陵から**景行天皇陵**までの

寄り道情報

和風旅館・皆花楼

山の辺の道を歩く際の宿泊先として推薦したい。桜井駅から徒歩3分の距離にある。創業は明治時代というから驚きである。犬養毅首相もお気に入りだったそうで、首相直筆の書が残されてもいる。明治から大正のレトロな構造をふんだんに見ることもでき、さらにいいのは、経営者ご夫妻の「手作り感」伝わるもてなしである。古さだけを売りにしているのではなく、インターネットなどを活用して周辺の季節の話題なども提供している。

山の辺の道は最終的に桜井市で終了するので、まずこの宿に荷物を置かせてもらい、公共交通機関を使って歩き始めのポイントまで移動する。そして、手荷物だけでゆったりと、そしてのんびりと古代のロマンの世界に身を浸しながら歩き、そしてこの宿に帰ってくる。日本最古の道を歩いた後に明治・大正の香りの漂う和風旅館で過ごすひとは、旅の思い出の密度をより一層、濃くしてくれることだろう。翌日はこの宿を拠点として、大化の改新の舞台ともなった談山神社や、十一面観音像で有名な聖林寺を訪れることをお奨めしたい。

皆花楼 奈良県桜井市桜井202
☎0744-42-2016



(上) 三島由紀夫も訪れた狭井神社
(下) 三輪はそうめんどころ

(上) 石畳の道が美しい (左下) 大神神社 (右下) 桜原神社



三輪山の森 (入り口にて)

ワンポイント講座

三輪山参拝登山

三輪山には参拝を目的として登山することができ、標高467mの美しい円錐形の山である。登るためには、まず狭井神社境内で登拝申請が必要であり、また午後2時以降の入山はできない。頂上までの往復で約2時間の行程である。

この柿畑付近からの夕暮れ時の風景は、見る者を古代ロマンの世界へと誘ってくれる。

桜原神社からは、雑木林の傍を抜ける細い石畳の道や竹林の中を静かな小道が続く。ところどころで、葛城山の雄姿や大和三山の優美な姿も顔を出してくれる。

狭井神社まで来ると、鎮女池のほとりに三島由紀夫の直筆による「清明」の石碑がある。神社境内にある薬井戸では、ご神水で喉を潤したい。

狭井神社からは幅広い参道筋が大神神社までつながっている。

大神神社は、酒の神様であると同時に、日本最古の神社として多くの参拝者が訪れている。本殿はなく、ご神体は、背後にある三輪山そのものなのである。大神神社を終了地点としてもいいが、平等寺や金屋の石仏などを巡りながら、桜井駅まで歩くことも可能である。